

2023年5月25日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエス三菱
代 表 者 名 代表取締役 森 拓也
社長執行役員

問 合 せ 先 管理本部副本部長兼総務部長
宅 野 伸 二
(TEL. 03-6385-8002)

「PCaPC^{へんぺいばり}扁平梁^{ヒラット} (Hiratto)」の開発のお知らせ

株式会社ピーエス三菱（本社：東京都中央区 代表取締役社長執行役員：森 拓也）は、従来の梁よりも幅を大きくして、せいを小さくしたプレキャストプレストレストコンクリート（PCaPC）造の扁平梁「PCaPC 扁平梁（Hiratto）」を開発いたしましたのでお知らせします。

1. 「PCaPC 扁平梁（Hiratto）」の特長

「PCaPC 扁平梁（Hiratto）」は、梁せいを小さくできるため従来工法と比較して、以下の特長があります。

① 建築空間利用における自由度が向上します。

〔同じ階高で計画した場合〕

- 開放的な天井高さの大空間が実現し、建物の利用価値を高めます。
- 設備配管の空間を確保しやすく、設備計画の自由度が向上します。
- 将来の様々な用途変更にも対応が可能となります。

〔同じ天井高で計画した場合〕

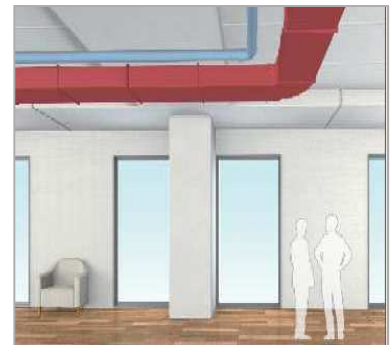
- 階高を低く設定することができ、建物高さを抑えることで建築計画の可能性が広がります。
- ② プレストレスを用いたプレキャスト工法を採用することで、複雑な現場配筋作業を軽減、省力化・工期短縮を実現し、施工中の騒音を低減します。

【梁下配管の比較】

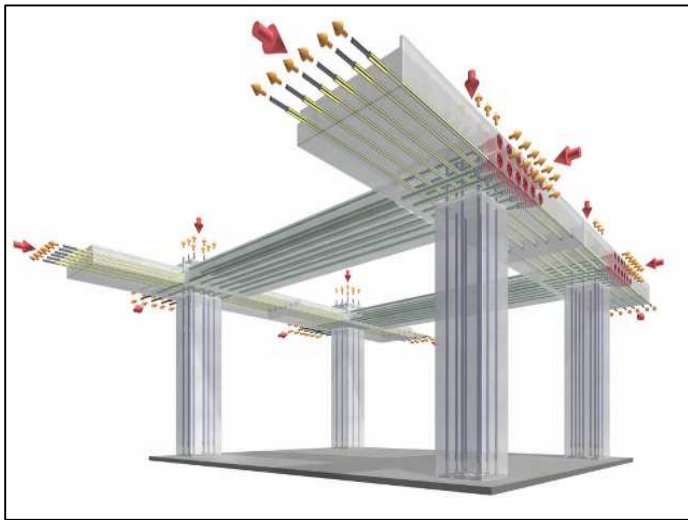
従来の工法では、梁下の配管・ダクトの配置による天井高さの確保や梁貫通孔の配置などが課題となっていました。が、「PCaPC 扁平梁（Hiratto）」なら省スペースで自由度の高い設備計画が可能となります。



従来の工法



PCaPC扁平梁



PCaPC 工法を採用することで省力化・工期短縮、騒音を低減



天井が高くなり明るく開放的な空間を実現

2. 今後の展開

天井に設備配管などが多く配置される医療施設や、建物の高さ制限がある地域での建築物に本工法を積極的に展開するなどお客様のニーズに応じた提案をしております。

3. PCaPC 扁平梁の工法について

本工法は「Hiratto 工法（ピーエス三菱扁平 PC 梁工法）」として一般財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しております。

4. ロゴデザイン



〔ロゴコンセプト〕

Hiratto（ヒラット）のHの文字の縦ラインは安定した柱を、横ラインは平たい扁平梁を表現しています。

5. 本工法に関するお問い合わせ

株式会社ピーエス三菱

本社 建築本部 建築営業部 TEL : 03-6385-8030